

Fujitsu Server PRIMERGY RX1330 M1

ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY RX1330 M1 に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みください。よろしくお願いいたします。

2017 年 2 月

富士通株式会社

1. Intel TXT 機能について

本装置では、ハードウェア上でハイパーバイザーを直接稼働させる仮想環境 (Windows Hyper-V、VMware ESXi など) において、Intel® TXT 機能 (インテル® トラストッド・エクゼキューション・テクノロジー) をご使用になれません。

2. ビデオリダイレクション (Advanced Video Redirection) ご使用時のキーボード入力について

iRMC FW 7.38F をご使用の場合、iRMC S4 Web インターフェースのビデオリダイレクション (AVR) のご使用時に、キーボード入力ができない場合があります。AVR ウィンドウ内にあるメニューバーの「キーボード」メニュー - 「ソフトウェアキーボード」より、ご使用になる言語のソフトキーボード (仮想キーボード) を選択してご使用ください。

※ iRMC FW 7.68F 以降でこの問題が修正されています。

3. ネットワークカード / システムボード交換に伴う設定情報の再設定について

Windows Server 2008 R2 をご使用の場合、ネットワークカード、またはシステムボードの交換、待機系装置への切替え、他装置へのリストア等を行うと、ネットワークコントローラを新規追加部品と装置が認識するため、ネットワーク関連の設定情報 (IP アドレス / Teaming 設定など) が初期化され、再設定が必要となります。

マイクロソフト社の以下の KB (Knowledge Base) を参照の上、事前に Hotfix を適用することで再設定を回避可能ですので、適用をお願い致します。

Windows Server 2008 R2: KB2344941, KB976042 (SP1 適用時は、再度 Hotfix 適用が必要)

Windows Server 2008 R2 (SP1): KB2550978, KB976042

※ Hotfix 適用にあたっての注意事項

・Hotfix はマイクロソフト社のサポートページから入手してください。

2016 年 8 月時点では、以下の URL から検索可能です。

<http://support.microsoft.com/?ln=en-us>

・Hotfix は、OS インストール時に搭載されていた部品情報を有効にするものです。

OS インストール後にシステムボード等を交換していた場合、OS インストール作業時の情報となります。

また、既にネットワーク関連の設定情報が初期化された場合も、Hotfix 適用により回復できる場合がありますので、この場合も適用をお願いします。

なお、Hotfix 適用によって回復しない場合は、ネットワーク関連情報の再設定が必要となります。この際、ハード変更前の LAN コントローラの情報が残っているため、変更前に使用していたネットワーク接続名を設定することができません。以前使用していたネットワーク接続名を使用する必要がある場合は、以下の作業後にネットワーク関連情報を再設定してください。

- (1) デバイスマネージャを起動します。管理者としてコマンドプロンプトを開き、以下を実行してください。

```
set devmgr_show_nonpresent_devices=1  
start devmgmt.msc
```

- (2) 非表示デバイスを表示可能にします。

デバイス マネージャーで [表示] メニューの [非表示のデバイスの表示] をクリックしてください。

- (3) コンピューターに接続されていない LAN コントローラを削除します。

色が薄く表示されている「ネットワークアダプタ」を削除してください。

4. SR-IOV 機能について

本装置では、Single Root I/O Virtualization (PCI デバイス側で仮想化をサポートする規格) が使用できません。

5. FJBU(サーバ内蔵型バッテリーユニット：オプション)搭載時の留意について

Window をご使用の場合、システム稼働中に本ユニットを取り付けする際には、下記のサービスを停止して取り付けを行い、その後サービスを再起動してください。

FJBU Service、及びサービス一覧で先頭が ServerView で始まる全てのサービス

※各サービスの停止、起動の推奨順序はございません。

※Linux をご使用の場合、本装置ではシステム稼働中の本ユニットの取り付けはできません。

6. UEFI モードについて

UEFI モードの設定方法や OS 及びオプションのサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

7. SAS コントローラカードをご使用時の HDD アクセス表示ランプについて

下表のベースユニットと SAS コントローラカード(PY*SC3FA)を同時にご使用時、装置フロントパネルの HDD アクセス表示ランプは点灯いたしません。なお、HDD モジュール側の HDD アクセス表示ランプは点灯します。

PRIMERGY RX1330 M1 ラックベースユニット	
PYR1331R3S	ラックベースユニット (3.5 インチ/300W 電源×1)
PYR1331R3M	ラックベースユニット (3.5 インチ/450W 電源×1)
PYR1331R2S	ラックベースユニット (2.5 インチ/300W 電源×1)
PYR1331R2M	ラックベースユニット (2.5 インチ/450W 電源×1)



フロントパネルの HDD アクセス表示ランプ



HDD モジュールの HDD アクセス表示ランプ

8. iRMC S4 のご使用上の留意・注意事項に関して

その他、iRMC S4 に関するご使用上の留意・注意事項については、「iRMC S4(Integrated Remote Management Controller)ご使用上の留意・注意事項」をご確認ください。本留意・注意事項は下記リンクから、ご使用の機種を選択し、各サーバ本体の個別のマニュアルより参照いただけます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

9. 「オペレーティングマニュアル」および「アップグレード&メンテナンスマニュアル」の補足事項について

ODD のモデルによってはアクセス表示ランプが搭載されていない場合がありますが、問題はありません。



(例) ODD アクセス表示ランプ有りの場合



(例) ODD アクセス表示ランプ無しの場合

10. Blu-ray ドライブご利用時の留意事項について

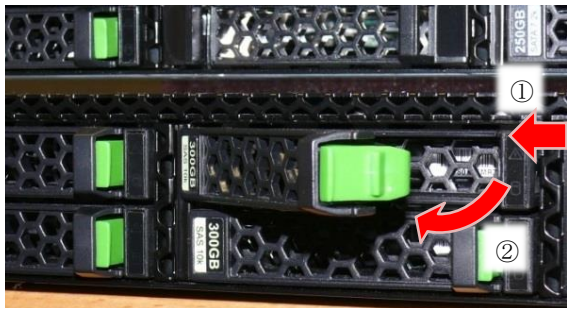
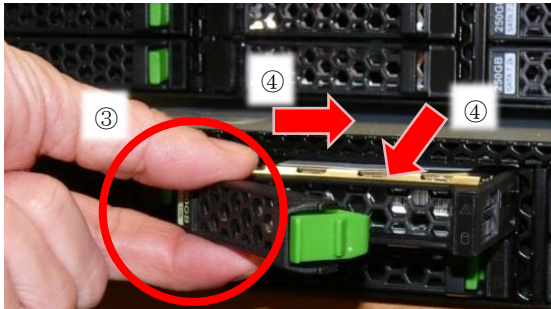
オンボード SATA RAID を構成し Blu-ray ドライブを搭載した環境において、Live File システムを利用する場合には、BD-RE(Blu-ray Disc Rewritable)メディアをご利用ください。BD-R(Blu-ray Disc Recordable)メディアはご利用になれません。

11. 2.5 インチ HDD/SSD 取り外し時の留意について

2.5 インチ HDD / SSD を取り外す際に、下図の A の部分のフックがかかっているため抜けづらいことがあります。その際、HDD/SSD トレイへ無理に力を加えると、トレイが破損してしまうことがあります。



取り外しにくい場合は、上右図 B の方向に無理に力を加えるのではなく、下記の手順を参考に取り外してください。

	
<p>①タッチポイントを押し、ロックを解除します。</p> <p>②手前にリリースレバーを約 45° 手前に倒します。</p>	<p>③リリースレバーの根元をつまみます。</p> <p>④トレイを軽く右方向へスライドしてから、サーバから引き抜きます。</p>

※ トレイをスライドしても引き抜けない場合は、一度 HDD/SSD を元の位置に戻して、手順①から再度実施してください。(HDD/SSD を元の位置に戻した際に、リビルドが自動実行された場合は、リビルドを停止してから、HDD/SSD を引き抜いてください。)